



# 土木科4連覇

金川君「とても気持ち良かった」



4連覇を果たした土木科の皆さん

土木科は学級対抗リレー3年で新記録を出した。学級対抗リレーは昨年からアンカーが200mから100mに短くなり、100m×20人となつた。昨年の1位は土木科で4

**土木3年**

**学級対抗リレーで新記録  
「皆で頑張った成果」**



優勝旗を受け取る金川君(土3)

天候は晴れのち曇りで朝は肌寒かったが、日中は14度まで上がった。トラック競技13種目、フィールド競技9種目の全種目が実施できた。

総合優勝した土木科3年H R委員長の金川流輝君は「4連覇することができ、とて

旭工オリンピックが最後の生徒会行事となつた前会長の上口護君(情3)は「種目の時間が重なる生徒もいたが、皆の協力のおかげで昨年よりも時間通りに各種目を進行することができて良かった」と



閉会式であいさつをする前会長の上口君

**上口護 前会長  
皆の協力に感謝**

も気持ち良かった。勝因は担任の夕下享洋先生からリレーの前にゲキが入り、皆に火がついたこと」と満面の笑みで話した。



北海道旭川工業高等学校新聞局  
〒078-8804  
北海道旭川市緑が丘東4条1丁目1-1  
発行人(局長)  
村岡 良祐  
(工業化学科3年)

分26秒10だったが、今年の土木科は4分23秒13だった。  
アンカーを務めた佐藤佑樹君は「皆で頑張った成果なのでとてもうれしい。また、3年連続で1位なのでよりうれしい。勝因はバトンパスがうまいこと」と話した。

## 旭工オリンピック 結果一覧

	1位	2位	3位		
総合	土木科	工業化学科	建築科		
100m(男子)	高松 優太(化2)	12秒67	荻原 駿大(土3)	12秒75	
100m(女子)	石川 柚希(情1)	16秒18	渡辺 杏胡(電1)	16秒53	
200m(男子)	鹿間 翔太(化3)	25秒37	浪岡 凌玖(土1)	26秒02	
200m(女子)	松浦 乙華(電1)	35秒94	太田 紗絢(電1)	36秒92	
400m	辻村 琉人(建1)	59秒79	鈴木 玲央(化3)	1分00秒56	
			*3位は同タイム	加藤 結人(化2)	1分01秒56
800m	遠藤 順汰(情3)	2分13秒54	居石 豊(機3)	2分13秒73	
1500m	村上 蒼空(電1)	4分42秒34	藤原 恋士(機2)	4分47秒39	
学級対抗リレー(1年)	建築科	4分33秒47	土木科	4分36秒96	
学級対抗リレー(2年)	電子機械科	4分31秒14	土木科	4分32秒70	
学級対抗リレー(3年)	土木科	4分23秒13	工業化学科	4分32秒75	
科別対抗スウェーデンリレー	土木科	2分43秒82	建築科	2分44秒92	
ソフトボール遠投(男子)	金澤 謙河(土1)	79m50cm	高本 蔵真(化2)	74m50cm	
ソフトボール遠投(女子)	四戸 季音(建1)	36m95cm	谷水 乃彩(建3)	36m75cm	
円盤投げ	関根 遥翔(土3)	33m56cm	桑田 悠叶(土2)	30m75cm	
砲丸投げ	沼岡 芯喜(土2)	12m00cm	遠藤 廉(土3)	11m81cm	
ジャベリックスロー	太田 紗絢(電1)	20m15cm	松浦 乙華(電1)	19m90cm	
走り幅跳び(男子)	植松 俊也(化3)	5m56cm	吉本 琢真(電3)	5m46cm	
走り幅跳び(女子)	加藤 月宇星(化2)	3m34cm	金子 來未(化2)	2m75cm	
走り高跳び(男子)	小西 劇(化3)	1m65cm	宮本 徒夢(土3)	1m60cm	
走り高跳び(女子)	坂本 かがり(建1)	1m20cm	土肥 琴葉(土1)	1m15cm	
部対抗リレー(運動部)	バスケットボール部	1分39秒52	陸上部	1分41秒05	
部対抗リレー(文化部)	図書局	2分06秒46	吹奏楽部	2分06秒81	
			放送局	2分07秒65	

## 優勝者の喜びの声

- ◆100m男子 高松優太君(化2)  
優勝できてすごくうれしい。普段からの練習の成果がでた。来年も優勝できるように頑張る。

◆100m女子 石川柚希さん(情1)  
最後まで走れて良かった。勝因は昼食を早く食べたこと。来年も優勝できるように頑張る。

◆200m男子 鹿間翔太君(化3)  
勝てて良かった。勝因は後半の粘り。1、2年生には日々の運動を欠かさずやってほしい。

◆200m女子 松浦乙華さん(電1)  
優勝できてうれしかった。勝因は足が速かったから。来年のはぶっちぎりの1位を取りたい。

◆400m 辻村琉人君(建1)  
皆の応援に応えることができて良かった。本番で一番良いタイムを出すことができた。勝因は先輩やクラスメイトの応援があったことと小学生からサッカーを続けているから。良い順位を取って、来年こそ建築科の優勝に貢献したい。

◆800m 遠藤颯汰(情3)  
陸上部を引退してからしばらく走っていなかったので、優勝てきてとてもうれしかった。勝因は2週間前から練習をしていたので1位を取れたのだと思う。

◆1500m 村上蒼空君(電1)  
普段の実力が出て良かった。勝因はラスト1周まで余力があったから。来年は違う種目にもチャレンジしてみたい。

◆学級対抗リレー(1年) 建築科 HR委員長 佐々木漣君  
2位と差が大きくてびっくりした。皆のチームワークが優勝につながった。来年はもっとチームワークを深めていきたい。

◆学級対抗リレー(2年) 電子機械科 HR委員長 藤原怜士君  
クラス全員で作戦を考えて本気で勝ちにいったので、とてもうれしかった。勝因は走順を工夫し、バトンミスがなかったこと。担任の白戸愁真先生の熱いエールのおかげ。クラスの絆がバトンパスに出るので、様々な行事を通して絆を深めていく。

◆学級対抗リレー(3年) 土木科 第4走者 菊地響君  
3年間勝ち続けられて良かった。勝因はバトンミスがなかったことと担任の下田享洋先生からのギキ。

◆科別対抗スウェーデンリレー 土木科  
アンカー 加藤聖人君(土3)  
優勝できて良かった。スウェーデンリレーで総合の勝敗がついたと思うので貢献できて良かった。勝因は走順。最初は違ったが、当日はアンカーで走ることができたから。

◆ソフトボール遠投男子 金澤諒河君(土1)  
優勝して気持ち良い。勝因は土木科の応援があったから。来年は100mを投げる。

◆ソフトボール遠投女子 四戸季音さん(建1)  
優勝できると思っていなかったのでうれしい。勝因はバーボルをやっていたから。来年は別の競技にチャレンジしたい。

◆円盤投げ 関根遙翔君(土3)  
決勝では予選の時より緊張せずに自分の力を最大限発揮できて良かった。本番でも緊張せずにやれたところが勝因。

◆砲丸投げ 沼岡芯喜君(土2)  
プレッシャーがすごかったが、優勝できて良かった。勝因はラスト1投に気持ちを込めて投げられたこと。来年は円盤投げで優勝したい。

◆ジャベリックスロー 太田紗絢さん(電1)  
まさか自分が優勝するとは思っていなかったので、とてもうれしかった。勝因は普段からバスケットボールを先輩たちにパスしているので、そこから力がついたのだと思う。来年は相手にならないくらい圧勝する。

◆走り幅跳び男子 植松俊也君(化3)  
優勝できて素直にうれしい。中学生の時に走り幅跳びをやっていたので、生かすことができた。

◆走り幅跳び女子 加藤月宇星さん(化2)  
金鳥羽ばたけたと思う。うれしい。勝因は家のイメージトレーニングと実践。来年も走り幅跳びに出場するかは分からないうが、どの種目に出ても頑張る。

◆走り高跳び男子 小西劉君(化3)  
優勝できてうれしかった。勝因は足が長かったから。後輩には170cmを跳んでほしい。

◆走り高跳び女子 坂本かがりさん(建1)  
優勝できてうれしい。勝因は友達が応援してくれたこと。来年も頑張る。

◆部対抗リレー運動部 バスケットボール部  
アンカー 小西劉君(化3)  
部員皆の勝ちたいという気持ちが強いと優勝できると思った。勝因はスムーズなバトンパスとチームの絆。

◆部対抗リレー文化部 図書局 新局長 櫻井廉君(情2)  
今回が初優勝と聞いて、とても驚いた。勝因は皆のやる気とバトンパスの確認をしていたこと。来年は引退した後に引っ張り出でることになるので、引き継ぎが大変なことになる。

# 全道で準優勝



室蘭岳に登頂した山岳部のバリエーション



チームリーダーの小杉君

# トで点差開く

歩行技術、マナーやモラルなどの態度が審査される。小杉君は「体力的には余裕だったが、ペーパーテストで点差が開いてしまった。準優勝できて良かった。体力が必要な行動テストで高得点を取ることができた。天気や雲の形、コース概要などのペーパーテストが低かったので勉強しておけば良かった。来年の高体連に向けて体力を増強して持久力を高め、より勉強をして優勝を目指す」と語った。



サインをバーンにした図書屋(右)

## 部活動対抗リレー

# 大きいに盛り上がる 演劇部はバス停を担ぐ



使い古したグローブを  
加工したボクシング部

旭工オリエンピックの部活動対抗リレーは運動部と文化部に別れ、各部を象徴する物をバトンにして部独特のパフォーマンスを見せた。会場は大いに盛り上がった。

ボクシング部はグローブを加工し

として抱いで走った。第2走者の田中華杏さん（電3）は「バトンのバスト停は高文連演劇発表会で使つたもので、クオリティが高く目立つと思つた。走つているときほどても重かつた」と話した。

## 第37回有島武郎青少年公募 絵画展で美術部の架田祥喜君

# 有島繪画展

# 架田君の作品が入選 生徒会室の日常を描く

ていて、『生徒会室』の日頃の忙しい風景や何気ない日常をイメージして描いた。色彩が思った以上に癖になる良い色合いを出せた。油絵の制作に2か月と、とにかく時間が掛かったが、入選できるほどの作品ができて良かった。来年はもう少し早くから制作に取り組みたい。今年の高文連美術展では全道大会に行けなかつたので、来年は支部の美術展で入選以上の成績を取り、全道大会に行く」と話した。